

本庁舎環境衛生管理業務委託仕様書

1 委 託 名 本庁舎環境衛生管理業務委託（以下「本業務」という）

2 履行場所 千葉市中央区千葉港 1 番 1 号

3 委託期間 令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日まで

4 対象設備

本業務の対象となる施設及び設備は以下のとおりとする。詳細は別紙を参照とする。

・本庁舎

ア 建物構造：鉄骨造・鉄筋コンクリート造、地上 1 1 階、搭屋 1 階

延床面積：4 8, 8 8 8. 7 4 m²

イ 付帯施設（連絡通路、車庫等）

延床面積： 1, 5 3 9. 4 6 m²

5 業務目的

本業務は、本庁舎内の衛生的環境を確保するため、環境測定等を実施することを目的とする。

6 一般事項

（1）用語の定義

本庁舎環境衛生管理業務委託仕様書（以下、「本仕様書」という）において用いる用語の定義は、次のとおりとする。

ア 「現場責任者」とは、本業務の現場業務を総合的に把握し円滑に実施するために発注者との連絡調整を行う者で、現場における受注者側の責任者をいう。

イ 「現場責任者の職務を代理する者」とは、本業務の現場業務の中で現場責任者が不在の場合にその職務を代行する者のことをいう。

ウ 「業務従事者」とは、現場責任者、現場責任者の職務を代理する者及び業務責任者以外の者を総称していう。

（2）受注者は、本業務の履行にあたり、関係法令等を遵守し、本仕様書に定められた項目を誠実に履行すること。

また、業務従事者への賃金の支払いや労働条件についても、最低賃金法等の労働関係法令を遵守するとともに、業務従事者の賃金について、発注者から関係書類等の提出を求められた場合はただちに提出すること。

（3）受注者は、業務上知り得た市の秘密事項を第三者に漏らしてはならない。

このことは、契約の解除後及び期間満了後においても同様とする。

（4）受注者は、本業務の実施にあたって、発注者又は第三者に損害を及ぼしたときは、その旨を速やかに発注者に報告する。なお、発注者の責任に帰する場合のほかは、受注者がその賠償の責任を負う。

（5）本市では、環境マネジメントシステム（C－EMS）を運用し、省資源・省エネルギーの推進、3 R（発生抑制、再使用、再生利用）活動の推進及びグリーン購入の推進等、環境負荷の低減に関する取組みを行っていることから、本業務の履行においても、可能な範囲で、環境に配慮して作業を実施すること。

（6）受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による業務を処理するための個人情報の取扱いにあたっては、千葉市個人情報保護条例（平成 1 7 年千葉市条例第 5 号。以下「条例」という）その他個人情報の保護に関する法令等を遵守し、個人の権利利益を侵害することのないよう個人情報を適正に取り扱うとともに漏えい、滅失、改ざん、き損及び不適切な管理によるその他の被害が生じぬよう必要な措置を講じなければならない。また、業務中のどのような状況で知り得た個人情報であっても、みだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない。この契約が終

了し、又は解除された後においても同様とする。

(7) 本仕様書及び契約書に定めがない事項は、発注者と受注者と協議のうえ定めるものとする。

7 現場責任者の選任及び役割

(1) 現場責任者の選任

受注者は、本業務を適正に履行するため、業務従事者の中から現場責任者及びその職務を代理する者を選任し、発注者へ届け出ること。

(2) 現場責任者の役割

ア 現場責任者は、作業員に業務目的、作業内容及び発注者の指示事項等を伝え、その周知徹底を図ること。また、常に発注者と連絡の取れる体制をとること。

イ 現場責任者は、作業員の勤務状況を把握し、業務の向上に努めること。

ウ 現場責任者は、発注者より本業務の実施状況について確認の求めがあった場合には、これに立ち会うこと。

8 業務実施に伴う駐車場の利用

本庁舎の駐車場の利用はできない。ただし、作業上やむを得ず駐車する必要があるときは別途協議する。

9 服務規律

(1) 業務従事者は、本業務を行うに適した統一された服装及び名札を着用し、業務従事者であることを明確にするとともに、常に清潔を保たなければならない。

(2) 業務従事者は、鍵の貸与を受けた場合、管理を徹底するとともに本業務を遂行するために必要な場合に限って使用することとし、複製はしないこと。

(3) 業務従事者は、対象施設の図面など業務に関する資料の閲覧又は貸与を受けることができる。貸与を受けた場合は、管理を徹底するとともに、本業務を遂行するために必要な場合に限って使用することとし、複製はしないこと。

(4) 業務従事者は、対象施設が公共施設であることを十分に認識し、礼儀正しく品行を慎み、来庁者に対しては親切丁寧を旨とし、仮にも粗暴な言動があってはならない。

(5) 業務従事者は、昇降機を使用する際は、他の利用者に対して声かけをしてから乗り入れ、来庁者を優先させること。

(6) 業務従事者は、拾得物について、ただちに発注者に届け出ること。

(7) 業務従事者は、本業務に関係のない場所及び部屋への出入りはしないこと。

(8) 業務従事者は、業務中の飲酒、その他職務遂行を怠るような行動をとってはならない。

(9) 敷地内は、全面禁煙である。

10 提出書類

受注者は、発注者と協議の上、次に掲げる書類を提出すること。なお、作業計画書は、発注者の承認を得ること。

No.	提出書類	内 容	提出時期
1	業務着手届	業務に着手した日を示したもの	・業務開始前
2	業務従事者名簿	現場責任者、現場責任者の職務を代理する者及び作業員の氏名、年齢を記載したもの	・業務開始前 ・内容変更時
3	業務報告書	作業実施状況及び結果を示したもの (作業写真及び報告書)	・業務完了時
4	業務完了届	業務を完了した日を示したもの	・業務完了した時

11 業務内容

- (1) 環境測定業務
- (2) ねずみ等生息調査業務
- (3) 受水槽清掃業務
- (4) 汚水雑排水槽等清掃業務委託

※詳細は別紙のとおり

12 委託料の支払等

- (1) 受注者は、業務をすべて完了したときは、完了届を提出し、発注者が行う業務の検査を受けるものとする。
- (2) 受注者は、上記(1)による発注者の検査に合格したときは、委託料の請求をすることができる。
支払いは全ての業務完了後とする。
- (3) 発注者は、上記(2)の規定による請求があったときは、請求を受けた日から30日以内に委託料を支払うものとする。

別紙

環境測定業務

1 業務内容

本庁舎内の衛生的環境を確保するため、建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づき、空気環境測定業務を実施すること。

(1) 本庁舎内の空気環境測定

ア 27 地点の空気環境の測定業務を行う。

※測定月は奇数月とする。

計6回（5月、7月、9月、11月、1月、3月）

イ 測定項目（事務室）

浮遊粉じんの量、一酸化炭素の含有率、二酸化炭素の含有率、温度、相対湿度、気流、照度、騒音

ウ 「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」、同法関連政省令及び「千葉県特定建築物維持管理指導要綱」等で定められた基準を遵守すること。

エ 測定点

＜本庁舎＞

階	測定箇所
1	2
2	2
3	3
4	3
5	3
6	3
7	3
8	2
9	2
10	2
11	0
高層棟屋上	1
低層棟屋上	1
計	27

※測定場所（事務室）は別途協議する。

(2) 報告書の作成

ア 1回の測定ごとに報告書を作成し、提出すること。

イ 報告書は紙媒体のものと、電子データのものをそれぞれ提出すること。報告書の形式等については必要に応じ、発注者と協議するものとする。

ねずみ等生息調査業務

1 業務内容

本庁舎における衛生的環境を確保するため、建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づき、ねずみ及び害虫の生息状況の調査業務を実施すること。

(1) 対象施設 本庁舎 延床面積 50,428.20㎡

(2) 業務内容

(ア) 全体調査

- a 調査方法 粘着シートを設置し、生息状況の調査を行い、記録する。
- b 調査回数 年2回
- c 調査箇所

場 所	シート設置枚数
本庁舎出入口	7枚

※調査箇所については、発注者と協議の上、実施するものとする。

(イ) 重点区域調査

- a 調査方法 粘着シートを設置し、生息状況の調査を行い、記録する。
- b 調査回数 年6回
- c 調査箇所

場 所	シート設置枚数
1階売店	2枚
1階塵芥室・搬入口周辺	4枚
2階厨房	3枚
2階食堂	2枚
各階トイレ	26枚
各階給湯室 (リフレッシュスペース除く)	14枚
各階自動販売機置場周辺	15枚
7階屋上出入口周辺	1枚
11階屋上出入口周辺	2枚
外部塵芥室	2枚
汚水ポンプ桧	1枚
計	72枚

※調査箇所については、発注者と協議の上、実施するものとする。

ウ その他

「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」、同法関連政省令及び「千葉県特定建築物維持管理指導要綱」等で定められた基準を遵守すること。

(3) 報告書の作成

1回ごとに報告書を作成し、提出すること。

受水槽清掃業務

1 業務内容

水道法施行規則第 55 条の 1 及び水道法第 34 条の 2 により、本庁舎敷地内に設置してある受水槽及び高架水槽の内部清掃を実施すること。

(1) 服装

受水槽の清掃に従事する者は、衛生上必要な措置を講じた服装で行う。

(2) 使用機材等

清掃に使用する機材は、受水槽清掃専用とし、常に清潔に管理されていなければならない。

なお、使用にあたっては、丁寧に洗浄してから使用すること。

(3) 機器仕様

(ア) 11 階受水槽室

- ・受水槽 1 基（2 槽式 呼称 55.1m³）6.5×3.0×3.0h
- ・空調補給水槽 1 基（2 槽式 呼称 31.5m³）4.5×2.5×3.0h

(イ) 11 階熱源機械室

- ・雑用水高架水槽 1 基（2 槽式 呼称 72.0m³）8.0×3.0×3.0h

(ウ) ピット階

- ・雑用水槽 1 基（コンクリート水槽 総容量 143.5m³）

(4) 清掃方法

上記機器の内部清掃を 1 槽毎に行い、本庁舎施設を断水しないこと。槽内洗浄は、次亜塩素酸ナトリウム液等を使用し行い、清掃後の残水は完全に除去すること。

(5) 作業日

閉庁日に実施すること。詳細日程は協議のうえ決定する。（例年 1、2 月）

(6) 作業車両等を車寄せに駐車する際は交通誘導員を配置する。

(7) 報告書の作成

受注者は、受水槽清掃報告書の作成とともに、工程毎の清掃内容が把握できる写真を撮影し、委託業務完了時に発注者に提出すること。

汚水雑排水槽等清掃業務

1 業務内容

建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則第四条の三第 1 項に基づき、本庁舎の汚水槽及び雑排水槽等の排水に関する設備の清掃業務を実施すること。

(1) 業務詳細

ア 排水槽等の清掃

(ア) ポンプアップ槽の清掃（衛生設備外構図参照）

年 2 回（1 回目：7 月、2 回目：1 月）

槽内の清掃及び排出物の場外搬出処分

(イ) その他水槽の清掃

a 水槽の清掃

年 1 回

槽内の清掃及び排出物の場外搬出処分

b 対象水槽（免震・ピット階平面図参照）

No	名称	容量 (m3)	R8 年度対象	備考
①	湧水槽	384		R8 年度は対象外
②	雨水貯留槽	180		R8 年度は対象外
③	雨水流出抑制槽（高層棟）	235		R8 年度は対象外
④	機械排水槽	74	○	
⑤	沈砂槽（高層棟㉔）	13.8		R8 年度は対象外
⑥	沈砂槽（高層棟㉕）	15.8		R8 年度は対象外
⑦	雨水流出抑制槽（低層棟）	195		R8 年度は対象外
⑧	沈砂槽（低層棟）	19.6		R8 年度は対象外
⑨	災害用汚水槽	375		R8 年度は対象外
-	湧水排水ポンプピット	1 (m3) × 9 箇所	○	

（ウ）排水桝の点検、清掃（衛生設備外構図参照）

年 1 回、排水桝の点検を実施し、桝内堆積物がある場合は清掃を行う。

イ 汚泥処理

各排水槽からの排出物の運搬及び処理について適切な処理を行う。

（ア） 産業廃棄物：雑排水槽及び湧水槽の排出物

（イ） 一般廃棄物：汚水槽の排出物

ウ 殺虫プレートの設置

各水槽に 1 枚ずつ（年 2 回）

エ 作業日

閉庁日に実施すること。詳細日程は協議のうえ決定する。（例年 1、2 月）

オ その他

作業車両等を車寄せに駐車する際は交通誘導員を配置する。

（2）輸配送

ア 使用する自動車については、次のとおりとする。

（ア）自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法（平成 4 年 6 月 3 日法律第 70 号）の対策地域内で登録可能な自動車であること。

（イ）前記の規定にかかわらず可能な限り低公害かつ低燃費な自動車を使用すること。

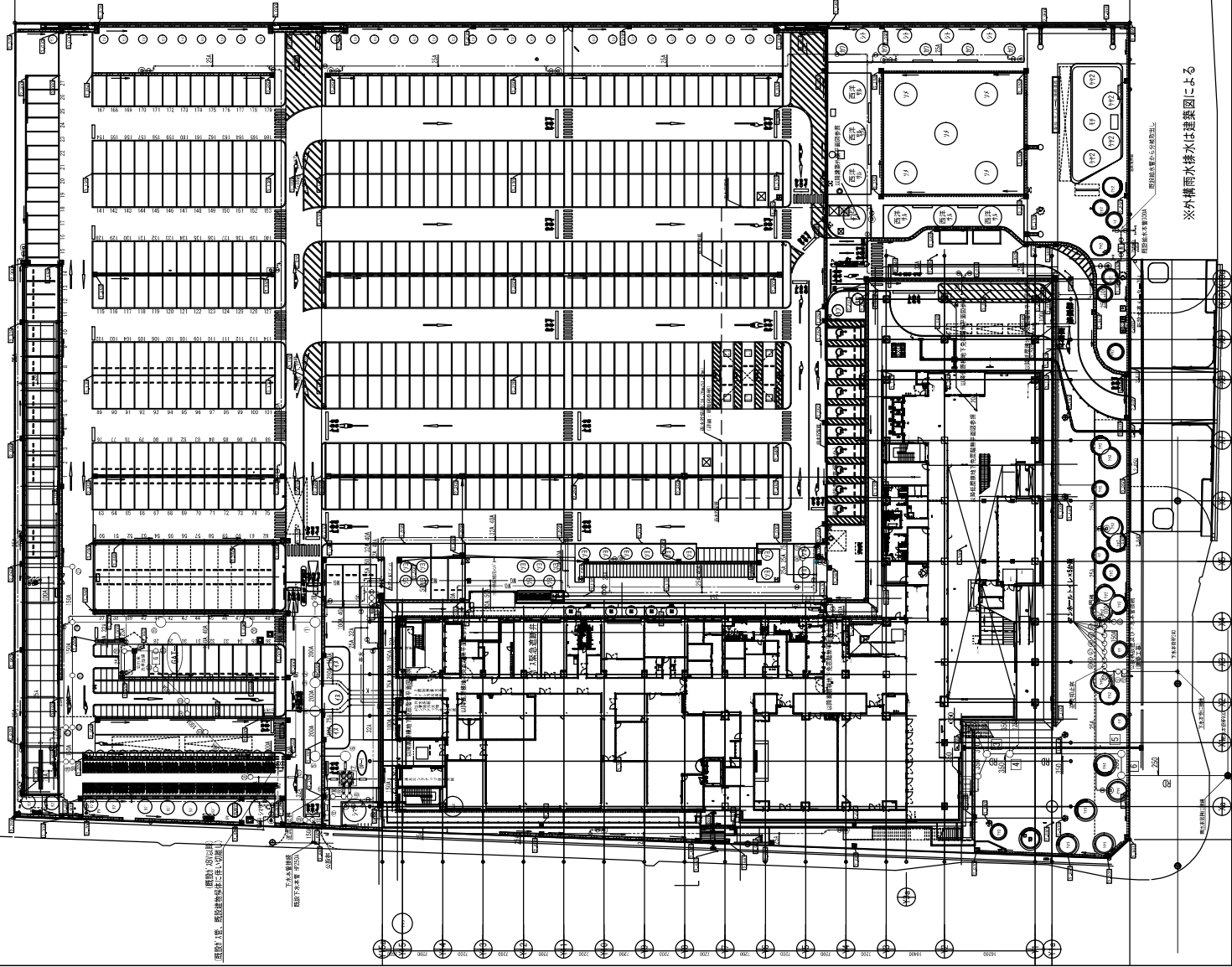
イ 履行の確認に関することについては、次のとおりとする。

（ア）適合の確認のために、当該自動車の自動車検査証、粒子状物質減少装置装着証明書等の提示、または写しの提出を求められた場合には、速やかに提示または提出すること。

（3）報告書の作成

1 回ごとに報告書を作成し、関係書類と共に提出すること。

衛生設備外構図



※外構雨水排水は建築図による

[illegible][illegible]

52	汚水樹	塩ビ小口径樹 (公設機)	200φ	透耐	透入樹	- 615
					透出樹	- 609

※1 樹幹号28~38は配管径100A・勾配1/100はマニング係数で平素市下水道選了承認済み

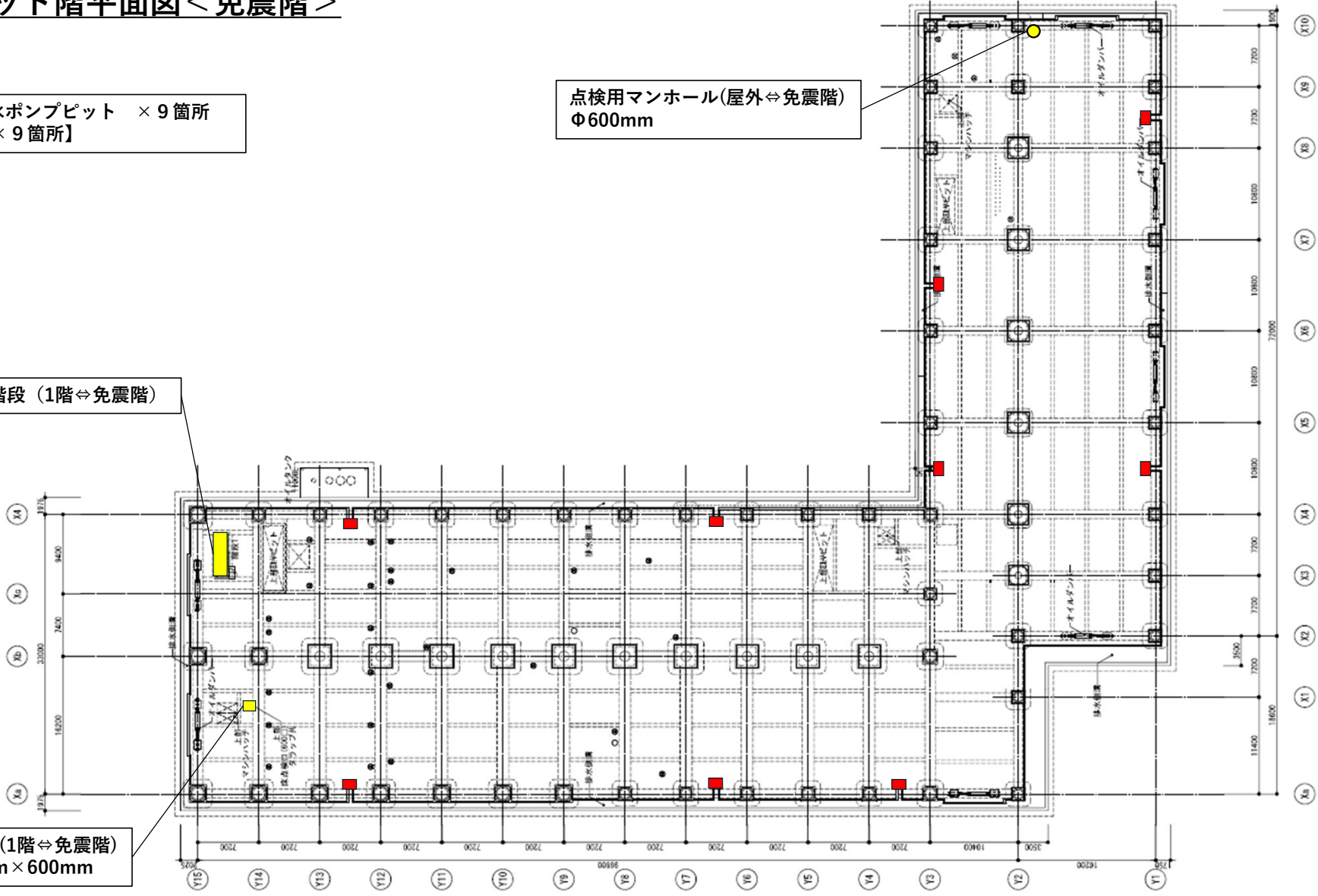
免震・ピット階平面図<免震階>

■: 湧水排水ポンプピット × 9箇所
【1m3 × 9箇所】

点検用マンホール(屋外⇄免震階)
Φ600mm

階段 (1階⇄免震階)

点検口(1階⇄免震階)
600mm × 600mm



免震・ピット階平面図<ピット階>

No	名称	容量【m3】
-	雑用水槽	143.5
①	湧水槽	384
②	雨水貯留槽	180
③	雨水流出抑制槽（高層棟）	235
④	機械排水槽	74
⑤	沈砂槽（高層棟a）	13.8
⑥	沈砂槽（高層棟b）	15.8
⑦	雨水流出抑制槽（低層棟）	195
⑧	沈砂槽（低層棟）	19.6
⑨	災害用汚水槽	375

